

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/06/27

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.49	-0.02
JPY/THB	0.2624	-0.0007
USD/JPY	135.23	0.28
EUR/THB	37.44	0.08
EUR/USD	1.0553	0.0030
USD/CNH	6.682	-0.018
SGD/THB	25.59	0.06
AUD/THB	24.63	0.16
USD/INR	78.34	0.03
USD Index	104.19	-0.25

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.472	-0.001
10Y (THB)	2.919	-0.007
5Y (USD)	3.186	0.039
10Y (USD)	3.130	0.043

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,826.5	0.8
WTI (Oil)	107.62	3.35
Copper	8,381.0	-28.0

Stock

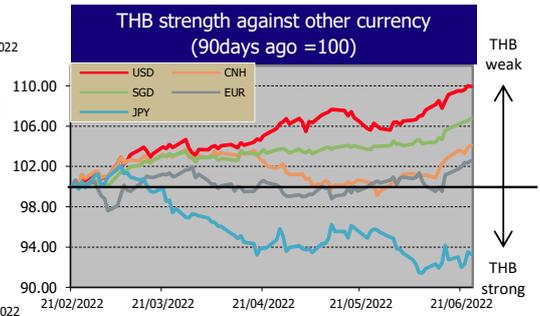
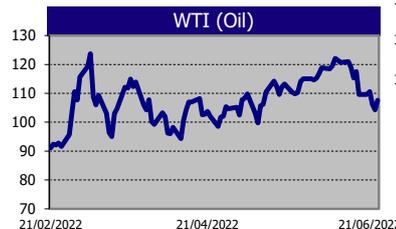
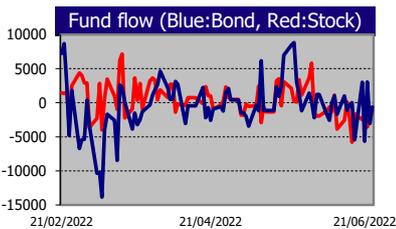
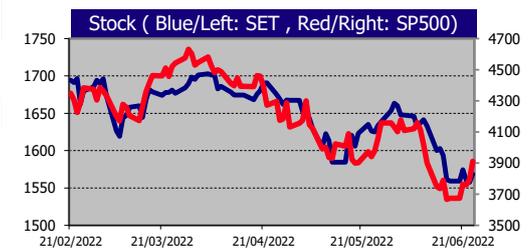
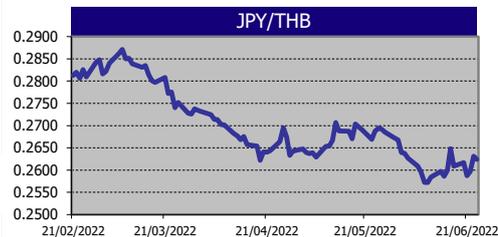
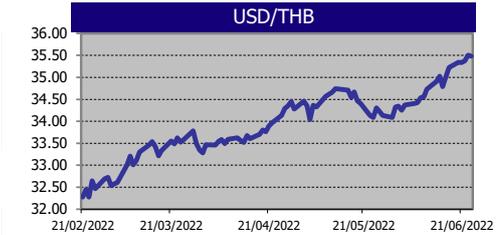
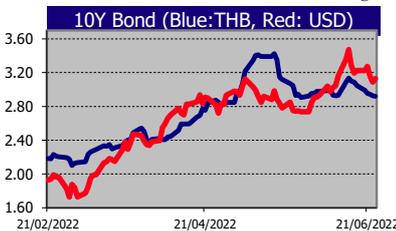
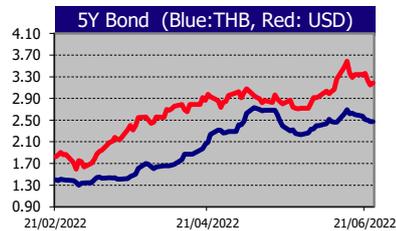
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,568.76	11.15
NIKKEI (JP)	26,491.97	320.72
DOW (US)	31,500.68	823.32
S&P500 (US)	3,911.74	116.01
SHCOMP (CN)	3,349.75	29.60
DAX(GER)	13,118.13	205.54

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,145)	1094.6
Bond net flow	(636)	2429.1

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

24日のドルパーツは35パーツ半ばで取引を開始。朝方からドル買い優勢となったが、ドル買い一巡後は週末を前に上昇基調であったため、戻り売りに押されて上げ幅を縮小。海外時間、一時ドル買いが強まる動きが見られたが、引き続き調整メインの相場となり、35.49と前日比小幅パーツ高で終えた。

●ドル円その他

24日のドル円は134円後半で取引を開始。東京の仲値公示に向けて135円前半まで上昇したが、その後は134円台に戻し、134円半ば～後半で推移。海外時間、米金利の上昇と共にドル円は135円台を回復。米景況感の指標が予想を下回って135円を一時割り込んだが、住宅関連指標が予想を上回ったため、ドル円は135円前半での推移がメイン。そのまま135.23レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

世界的に景気後退懸念が意識されていて、リスクセンチメントが悪化しています。こうした動きに敏感な商品市場では、原油や銅、アルミ等の価格が6/13週対比で下落しており、期待インフレ率の低下に伴う利上げ織り込み度合いの低下(米長期金利低下)も見られている状況です。商品価格の下落や米金利低下は資源輸入国であるタイにとってはプラスですが、景気後退懸念が勝っており、ドルパーツが約5年ぶり高値圏に貼りつく要因となっています。先週はアコム財務相からタイ中銀に対して利上げを行った場合の市中貸出金利への影響を調査するよう指示が出ていて、タイでも3Q以降の利上げが意識されていますが、為替への影響は今のところ見られません。当面は各国での金利引き上げが景気後退を引き起こすのが最も注目されており、ドルパーツの高値更新が起きやすい地合いだと予想します。(鈴木)